

市民の生活を守る市政を！！

重点支援地方創生臨時交付金 市民生活に寄り添った支援となっているのか？

議会の最終日(6月25日)、国の交付金を使った「物価高騰対策」の4つの施策が急速追加されました。一見、市民のための良い施策に見えますが、その中身はあまりにも公平に欠ける。日本共産党市議団は、徹底的に追及して、この予算に【反対】しました。



- ①市民の住宅防犯対策用品の購入補助（上限1万円）
- ②営農業者に10万円補助
- ③中東情勢悪化に伴い融資を受けた事業者に対し、当該融資に連動した支援（岐阜県融資：上限20万円、金融公庫：上限10万円）
- ④製造業・建設業に対し、石油由来製品購入支援（上限50万円）

- ☐本当に必要な人に届いているのか
- ☐支援対象や内容は公平と言えるのか
- ☐市民生活の負担軽減につながるのか



×市民の声は届かないの??

今議会、地元の民主商工会(民商)から「物価高で限界、市民と業者へ一律の救済を」と切実な請願が出されました。しかし市側と他会派は「国の支援があるから」と冷たく不採択(反対)に。

提案してきたのは公平さ欠ける線引き

それなのに最終日に出してきた市の「産業振興対策」(④)は、特定の業種だけを優遇し、他を切り捨てる不公平な線引き。物価高の苦しみはどの業種も同じです。納得いかないやり方に日本共産党はハッキリNOを突きつけました。

今こそ新総合体育館建設の見直しを！！



「一度決めたことだから」で、どこまで市民の負担を増やすのか? 今、世界情勢の激変による資材高騰・人件費の高騰で、全国の自治体が大型施設の建設を【中止・見直し】をしています。しかし、各務原市は見直しはしないといっている。本当にそれで大丈夫??

日本共産党が本気で追及——市の信じられない答弁は・・・

Q. もしこれ以上、建設費が膨れ上がったら、どういう基準で見直すの?

A. 各務原市「見直しの判断基準はありません」

なんと、どれだけ市民の税金が追加で必要になっても、途中で止める基準すら作っていないことが判明。さらに、「世界情勢による物価高騰」などの不可抗力トラブルが起きた場合、その追加費用は民間業者ではなく、すべて「市(=私たちの税金)」が背負わされる契約になっています。



このままで本当に大丈夫? 今こそ一時立ち止まって、計画を再検証すべきです!



水脈第82号 2026年7月発行
日本共産党各務原市委員会
各務原市那加前洞新町町3丁目29
☎ 058-383-3935

暮らしのご相談をお寄せください

物価高騰・介護・福祉・税金・子育て、教育
学校再編・新総合体育館
お気軽にご相談ください

日本共産党

市民のリアルな困りごと、ガツンと市政へ!

キドたかし議員 [街の経済と平和を守る]



1 県の住宅リフォーム補助金は初日で予算上限になり終了!

それなのに、市独自の「リフォーム助成」はやらない?

物価高で、家のリフォーム代が爆上がり。岐阜県の住宅リフォーム補助金は、受付開始直後に応募が殺到し予算上限で即終了。これほどニーズがあるのに、各務原市は市独自の支援は、「目的や制度設計が大きく変わらない事業を、県の施策を補完する形での実施は考えていない。」とバツサリ。

<日本共産党の主張!!>

過去(10年ほど前)に、各務原市でも実施していて、大好評だった「住宅リフォーム助成」。これは市民が助かるだけでなく、地元の工務店や大工さんに直接仕事が回り、地域経済を地域の中でグルグル回す最高の経済対策です。だから、今こそ復活するべき!!

2 航空宇宙博物館で「平和展」の実施を提案!! しかし、市の答えは・・・

各務原空襲(6月22日)の悲惨さを次世代に伝えるため、航空宇宙博物館での戦争資料展示や平和企画展の実施を求めました。

しかし、市は「航空宇宙博物館は、航空に関する資料の収集と展示、また航空宇宙技術の産業振興や地域の活性化に寄与する場所。平和を後世に伝えていくことは大切なことだと認識しているが、設置目的に合わないので実施の予定はない」とのこと。

<日本共産党の主張!!>

歴史の光と影、両方を伝えることこそが本当の教育であり、行政の責任です。ぜひ、航空宇宙博物館でも伝えて欲しい。また、川島会館4階にある「各務原空襲資料室」も、職員が目が届かないので入り口は施錠ではなく、常時開放して子どもたちがいつでも気軽に立ち寄れるようにするべきです!

はたのゆうこ議員 [本気で働く人の味方]



1 市の業務を支える会計年度任用職員の処遇改善を!!

行政の最前線で働く会計年度任用職員。各務原市では、5年以上も最前線でキャリアを積んできた超ベテランが450人もいます。しかし市は「彼らの仕事はあくまで補助的・定型的だ」と言い張り、何年働いても給与の上限を上げず、正規登用制度也没有せん。

<日本共産党の主張!!>

豊かな経験を持つ人材を低賃金で働かせ続けていいのでしょうか? 安心して長く働ける環境を作ることこそが、めぐりめぐって子育て世代や市民サービスに返ってくるはずです!

2 「仕事が忙しくて健診ムリ」な現役世代を救え!

市の特定健診受診率は40.6%と低迷。本当に病気のリスクが高い「忙しい現役世代」や「健康無関心層」に届いていません。

<日本共産党の主張!!>

平日が無理なら「月1回の日曜日集団検診」をやるべき! さらに全年齢を対象に、歩くだけ・検診受けるだけでポイントが貯まる「健幸ポイント制度」を導入し、ガマンや努力じゃなく「ゲーム感覚で楽しく健康になれる仕組み」を作ろうと提案しました。